

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 フィールズ株式会社

コード番号 2767 URL <http://www.fields.biz/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大屋 高志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 畑中 英昭

TEL 03-5784-2111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	36,385	25.0	2,176	—	2,144	—	1,434	—
25年3月期第2四半期	29,118	△12.7	△1,859	—	△1,738	—	△980	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,988百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,370百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	43.22	—
25年3月期第2四半期	△29.54	—

(注) 平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合をもって株式の分割を実施しました。1株当たり四半期純利益の金額については、前連結会計年度の期首に当該株式の分割が行われたと仮定して算出した数値を記載しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	83,774	56,106	66.6
25年3月期	106,628	55,098	51.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 55,802百万円 25年3月期 54,559百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2,500.00	—	25.00	—
26年3月期	—	25.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合をもって株式の分割をし、単元株式数を100株としました。平成25年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割を考慮した額を記載しています。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり年間配当金は5,000円00銭(第2四半期末2,500円00銭、期末2,500円00銭)となります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	11.0	12,500	21.2	12,500	21.7	6,300	33.4	189.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	34,700,000 株	25年3月期	34,700,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	1,516,200 株	25年3月期	1,516,200 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	33,183,800 株	25年3月期2Q	33,183,800 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合をもって株式の分割を実施しました。上記の株式数については、前連結会計年度の期首に当該株式の分割が行われたと仮定して算出した数値を記載しています。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は平成25年11月7日(木)に機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[当第2四半期連結累計期間(4月-9月、以下「当第2四半期」)の概況]

売上高は36,385百万円(前年同期比25.0%増)、営業利益2,176百万円(前年同期は営業損失1,859百万円)、経常利益2,144百万円(同 経常損失1,738百万円)、四半期純利益1,434百万円(同 四半期純損失980百万円)となりました。

業績変動の主因は、下記の通りです。

遊技機事業において、パチンコ・パチスロともに販売が好調に推移したため、販売台数が前年同期と比較して増加し、上述の経営成績となりました。

(中長期的な成長戦略)

当社グループは、キャラクターをはじめとしたIP(知的財産)を主軸において、取得・保有・創出したIPの価値を最大化することで、中長期の視点に立った持続的な成長を目指しています。

この実現に向けて、現在、コミックス、アニメーション、映画/テレビ/舞台、ゲーム事業などのインタラクティブ・メディア、コンシューマプロダクト、パチンコ・パチスロの6分野で、IPの価値向上を推進するとともに、各分野が連携してIPの育成・事業化に取り組んでいます。

当第2四半期の主なIPの育成・事業化の取り組みは、以下の通りです。

ヒーローの創出を目的としたコミック誌『月刊ヒーローズ』は、連載作品『ULTRAMAN(ウルトラマン)』の単行本第3巻を刊行し、累計発行部数が約90万部に迫るなど、順調に推移しています。

『銀河機攻隊 マジェスティックプリンス』は、コミック誌と連動したテレビアニメとして、全24話の放送にあわせ、グッズの開発・販売を行いました。さらに、ソーシャル・ゲーム(ネイティブ・アプリ型)の開発を進めるなど、多メディア展開に向けた施策を進めました。

『ベルセルク』は、アニメーション映画(3部作)の公開に次いで、ソーシャル・ゲーム(WEBアプリ型)やパチンコ遊技機を企画開発・販売しました。

『ウルトラマン』シリーズは、コミックスを通じて新たなファン層の獲得を図るとともに、ファミリー層のファン拡大に向け、『ウルトラマンガinga』『大怪獣ラッシュ ウルトラフロンティア』のテレビ放送や映画公開、パートナー企業と連携したアーケードゲームの展開を進めました。また、遊技機メーカーと連携し、パチスロ遊技機の企画開発及び販売に向けた諸施策を実施しました。

インタラクティブ・メディアの分野では、当第2四半期にソーシャル・ゲーム4タイトルを配信しました。パチンコ・パチスロの分野では、パチンコ遊技機の販売台数が約110,000台(前年同期比 約63,000台増)、パチスロ遊技機の販売台数が約61,000台(同 約7,000台増)となりました。

(注) 本短信に記載の商品名は各社の商標または登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、49,426百万円と前連結会計年度末比23,283百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものです。

有形固定資産は、11,612百万円と前連結会計年度末比461百万円の増加となりました。これは主に支店の新設用地取得によるものです。

無形固定資産は、4,552百万円と前連結会計年度末比11百万円の増加となりました。

投資その他の資産は、18,183百万円と前連結会計年度末比42百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券の増加及び長期繰延税金資産の減少によるものです。

以上の結果、資産の部は83,774百万円と前連結会計年度末比22,853百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、23,424百万円と前連結会計年度末比23,940百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少及び未払法人税等の減少によるものです。

固定負債は、4,243百万円と前連結会計年度末比79百万円の増加となりました。

以上の結果、負債の部は27,668百万円と前連結会計年度末比23,861百万円の減少となりました。

(純資産)

純資産の部は、56,106百万円と前連結会計年度末比1,008百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ7,601百万円減少し、15,708百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、4,554百万円(前年同期は1,070百万円の収入)となりました。これは主に仕入債務の減少22,451百万円、売上債権の減少20,429百万円、法人税等の支払3,844百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,650百万円(前年同期は2,625百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出913百万円、無形固定資産の取得による支出657百万円、貸付けによる支出230百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,387百万円(前年同期は1,111百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払828百万円、社債の償還による支出300百万円、短期借入金の返済による減少130百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	平成26年3月期 見通し	平成25年3月期 実績	前年同期比
売上高	120,000百万円	108,141百万円	11.0%増
営業利益	12,500百万円	10,314百万円	21.2%増
経常利益	12,500百万円	10,268百万円	21.7%増
当期純利益	6,300百万円	4,720百万円	33.4%増

通期連結業績予想は、平成25年5月7日発表の「平成25年3月期 決算短信」の通り、公表した内容に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,314	15,713
受取手形及び売掛金	42,017	23,258
商品及び製品	250	396
仕掛品	2,041	3,616
原材料及び貯蔵品	52	50
その他	5,076	6,427
貸倒引当金	△41	△35
流動資産合計	72,709	49,426
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,775	7,352
その他	4,376	4,260
有形固定資産合計	11,151	11,612
無形固定資産		
のれん	2,177	2,060
その他	2,363	2,492
無形固定資産合計	4,540	4,552
投資その他の資産		
投資有価証券	11,399	11,827
その他	7,340	6,523
貸倒引当金	△514	△168
投資その他の資産合計	18,226	18,183
固定資産合計	33,918	34,348
資産合計	106,628	83,774
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,604	14,215
1年内償還予定の社債	300	—
短期借入金	521	390
1年内返済予定の長期借入金	122	82
未払法人税等	3,931	931
賞与引当金	301	87
役員賞与引当金	230	120
返品調整引当金	28	26
その他	5,326	7,570
流動負債合計	47,365	23,424
固定負債		
長期借入金	109	77
退職給付引当金	531	574
その他	3,522	3,591
固定負債合計	4,164	4,243
負債合計	51,529	27,668

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,948	7,948
資本剰余金	7,994	7,994
利益剰余金	40,835	41,442
自己株式	△1,821	△1,821
株主資本合計	54,957	55,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△397	238
為替換算調整勘定	△1	0
その他の包括利益累計額合計	△398	238
少数株主持分	539	303
純資産合計	55,098	56,106
負債純資産合計	106,628	83,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	29,118	36,385
売上原価	20,293	22,737
売上総利益	8,824	13,648
販売費及び一般管理費	10,684	11,471
営業利益又は営業損失(△)	△1,859	2,176
営業外収益		
受取利息	6	18
受取配当金	85	86
仕入割引	132	84
その他	182	142
営業外収益合計	407	331
営業外費用		
支払利息	9	4
持分法による投資損失	3	169
投資有価証券運用損	10	—
出資金償却	231	156
その他	31	32
営業外費用合計	286	364
経常利益又は経常損失(△)	△1,738	2,144
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	23	11
減損損失	132	—
訴訟関連損失	5	9
その他	3	1
特別損失合計	166	22
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,903	2,121
法人税等	△851	770
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,051	1,351
少数株主損失(△)	△71	△82
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△980	1,434

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,051	1,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△317	635
為替換算調整勘定	△0	1
その他の包括利益合計	△318	637
四半期包括利益	△1,370	1,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,298	2,071
少数株主に係る四半期包括利益	△71	△82

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△1,903	2,121
減価償却費	1,100	977
減損損失	132	—
のれん償却額	160	158
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△62	△7
賞与引当金の増減額（△は減少）	△244	△213
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△120	△110
退職給付引当金の増減額（△は減少）	36	42
受取利息及び受取配当金	△91	△105
持分法による投資損益（△は益）	3	169
支払利息	9	4
売上債権の増減額（△は増加）	29,404	20,429
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,113	△1,719
商品化権前渡金の増減額（△は増加）	△709	△341
仕入債務の増減額（△は減少）	△26,099	△22,451
その他	△1,039	220
小計	△535	△823
利息及び配当金の受取額	111	120
利息の支払額	△9	△6
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	1,504	△3,844
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,070	△4,554
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△574	△913
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△701	△657
投資有価証券の取得による支出	△100	—
出資金の払込による支出	△35	△131
貸付けによる支出	△941	△230
関係会社株式の取得による支出	△10	△152
その他	△265	435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,625	△1,650
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	103	△130
長期借入金の返済による支出	△70	△71
社債の償還による支出	△308	△300
配当金の支払額	△830	△828
その他	△5	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,111	△1,387
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,670	△7,590
現金及び現金同等物の期首残高	18,284	23,309
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	—	△10
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,613	15,708

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。